

処分組合 ニュース

Vol.20
Dec. 2001



処分組合組織団体

処分組合は組織団体からの負担金で運営されています

八王子市	小金井市	清瀬市
立川市	小平市	東久留米市
武蔵野市	日野市	武蔵村山市
三鷹市	東村山市	多摩市
青梅市	国分寺市	稲城市
府中市	国立市	羽村市
昭島市	福生市	西東京市
調布市	狛江市	瑞穂町
町田市	東大和市	

発行：東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合

【事務局】

〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内 TEL: 042-385-5947 FAX: 042-384-8449

ホームページ <http://www.tokyo-shobunkumiai.com> メールアドレス sskumiai@tokyo-shobunkumiai.com

処分組合は、多摩地域25市1町380万人の可燃ごみ焼却灰や不燃物を埋め立てている二ツ塚処分場を管理・運営している特別地方公共団体です。

主な記事 「なるほど、知るほど、ごみ事情」特集・エコセメント/焼却灰をリサイクルするエコセメント事業は、ごみの処理を一步進める“切り札”です!
●日の出だより ●中国北京市区・県友好代表団が二ツ塚処分場を視察 ●三多摩は一つなり交流事業 ●処分組合の動き ●平成12年度決算報告 ●裁判レポート

21世紀は 【環境の世紀】

2002年は環境先進地域・多摩を目指して 一層のごみ減量・リサイクル推進を!

処分組合の組織団体25市1町では、市民、行政、事業者が一体となったごみ減量・リサイクル推進への取り組みが進められています。ここでは八王子、稲城、東村山、日野4市の特色ある取り組みをご紹介します。

八王子市の取り組み

多くの市民が集団回収に取り組むなどごみ減量への関心が高く、市職員による「**出前講座**」も好評



八王子市では市民による古紙や容器類などの集団回収が盛んに行われ、子ども会など登録団体は400以上。市職員が地域の学習会などに出向いて話をする「ごみの減量・リサイクルの出前講座」は2000年度1年間に23回開催され、1,000人を上回る市民が参加しました。

多摩地域で ごみゼロ社会を目指す

東京都市長会は10月25日の会議で「多摩地域でごみゼロ社会を目指す」ことを決定。2003年度までを目途に、多摩地域全市で家庭ごみの有料化を目指すことなどが指針として定められました。

青梅市、日野市、清瀬市では有料化実施済みです。

東村山市の取り組み

小学校などに設置された紙パック回収容器「**ぱっくはうす**」は、子どもたちへの手づくりのメッセージ

東村山市では小学校、児童館など公共施設23カ所に、市職員手づくりの紙パック回収容器「ぱっくはうす」を設置。集めた紙パックをトイレトーパーにリサイクルしています。「学校など手づくりの場では、ごみ減量のシンボリックな役割を持っている」と担当課の方は話しています。

稲城市の取り組み

市が設置し市民グループが運営する稲城市リサイクルショップでは、再生トイレトーパー「**稲城っ子**」が人気



人気の「稲城っ子」と「いなぎっ粉」

多い月には約3,000人の市民が訪れるというリサイクル活動の拠点、稲城市リサイクルショップ。中古家具や食器類のほか、市が収集した紙パックが原料のトイレトーパー「稲城っ子」、市民が持ち込む廃食用油でつくった粉石けん「いなぎっ粉」などが人気を集めています。

日野市の取り組み

「**ごみ改革で減量5割**」を達成!
子どもたちから家庭、地域へと広がる画期的な活動もスタート

ダストボックスを廃止し原則戸別有料収集を行うなど市民とともに「ごみ改革」を実施し、家庭ごみが半減した日野市。11月末には市立第二小学校の全校児童がPTA、地域の方々と協力し清掃活動を行いました。市の担当課も「授業の中での実施は画期的」と応援しています。





なるほど、知るほど、ごみ事情③ 特集「エコセメント」

焼却灰をリサイクルするエコセメント事業は、ごみの処理を一步進める“切り札”です！

多摩地域25市1町の可燃ごみの焼却灰や細かく砕いた不燃ごみは、日の出町にある最終処分場で埋立処分されています。処分組合では、運び込まれる埋立ごみの約6割を占める焼却灰を安全に資源化し有効利用する、エコセメント事業を推進しています。

毎日大量に発生するごみ焼却灰を、安全に、すべてセメントにリサイクル 二ツ塚処分場の使用期間を16年間から、30年間以上に延ばすことができます！

焼却灰をセメントにリサイクル

エコセメントとは

エコセメントとは、都市ごみ焼却灰などの都市型廃棄物を主原料としてつくられる新しいセメントです。環境と調和した廃棄物資源利用であることから、通産省（現、経済産業省）により、エコロジーの“エコ”とセメントを合わせて「エコセメント」と名付けられました。

新しい最終処分場の確保は困難

二ツ塚処分場はそのまま埋立処分を続けていくと16年間で満杯となり、新しい最終処分場が必要となってきます。しかし、多摩地域に新たな最終処分場を建設する用地の確保は困難で、ごみ減量・リサイクル推進とともに、焼却灰をすべてリサイクルするエコセメント事業によって二ツ塚処分場を少しでも長く使用することが必要です。

製造過程でダイオキシン類を分解

ごみ焼却灰を主な原料とするエコセメントは、その製造過程でダイオキシン類が分解され、重金属類も回収されるため安全性には問題がなく、普通ポルトランドセメントと同様の用途への利用が可能です。



エコセメント製品の一つ(二ツ塚処分場)

埋立処分は不燃ごみだけになる

多摩地域でのリサイクルをさらに進めます

平成11年度の多摩地域の全ごみ排出量に占める総資源化率は約23%で、全国平均の約2倍。多摩地域は名実ともにリサイクル先進地です。埋立処分されていた焼却灰をセメントにリサイクルすることによって、多摩地域でのリサイクルをさらに進めていきます。

二ツ塚処分場の使用期間を延ばします

現在、二ツ塚処分場に埋立立てられているごみの量の6割は焼却灰です。この焼却灰をリサイクルするエコセメント事業を進めることにより、二ツ塚処分場で埋立処分されるのは不燃ごみだけとなり、使用期間が16年間から、30年間以上に延長できると試算されています。

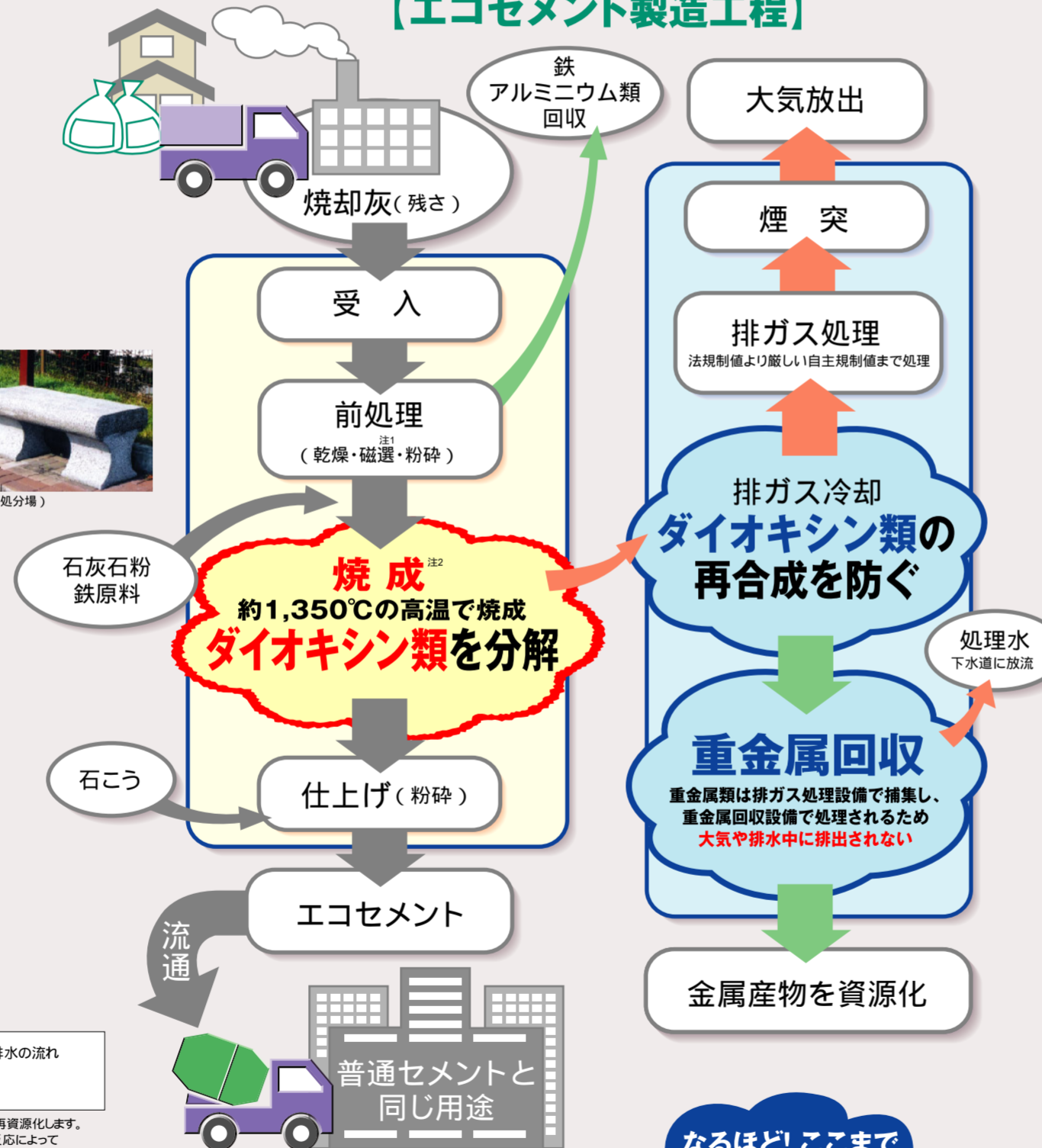
より安全な埋立を行うことができます

二ツ塚処分場は最新の設備・システムを持つ国内最高水準の最終処分場です。現在埋立処分している焼却灰の全量をセメントにリサイクルするエコセメント事業を実施することによって、より安全な埋立対策を進めることができます。



注1:磁選(じせん)=磁石や電流の働きを利用して、焼却灰に含まれる鉄などの金属類を分別。金属は再資源化します。
注2:焼成(しょうせい)=ロータリーキルンと呼ばれる筒状の窯で原料を1,350の高温に加熱し、化学反応によってセメントの一手前中間製品・クリンカをつくり出す。

【エコセメント製造工程】



なるほど!ここまで進んだだね

エコセメントの施設は、日の出町二ツ塚廃棄物広域処分場の敷地内につくられます



計画区域

二ツ塚廃棄物広域処分場

事業の概要

位置:東京都多摩郡日の出町大字久野(二ツ塚廃棄物広域処分場内)
面積:計画施設用地面積 約4.6ha
(二ツ塚処分場全体面積 約59.1ha)
施設規模:焼却残さ等の処理 約400t/日
エコセメント生産能力 約620t/日
処理対象物:多摩地域各市町村のごみ焼却施設から排出される焼却残さ、溶融飛灰、他(不燃物中の石・陶器類、屎尿汚泥焼却灰)
工事中工年度:平成14年度(造成工事中工予定含む)
施設稼働年度:平成16年度末(予定)

建設・維持管理費の財源

組織団体の負担金及び国庫補助金等によって措置されます。

事業運営方法

処分組合が施設を建設し運営主体となります。施設の維持管理と販売については、民間企業に一括委託することとしています。

環境対策

環境関連の各種法律・条例などによる規制値を遵守するとともに、より厳しい自主規制値を定め、周辺の環境保全に努めます。

クリンクリンレポート

平成13年春に操業を開始した「市原エコセメント」(千葉県市原市)からレポートをお届けします。世界初のエコセメント施設は順調に稼働中

今年4月、世界で初めてのエコセメント工場として操業を始めた「市原エコセメント」。ここでは6万2,000トンのごみ焼却灰(千葉県で1年間に発生するごみ焼却灰の約4分の1にあたる量)を主原料として受け入れ、年間11万トンのエコセメントを生産することができます。埋立処分されて

されていたごみ焼却灰をセメントにリサイクルするエコセメント技術は、同時にダイオキシン類を分解・無害化し、重金属類も回収・資源化するという画期的な技術です。また、この施設の特徴のひとつはゼロエミッションです。エコセメントの製造を通じて、新たな廃棄物が発生しないという点です。

千葉県の焼却灰はエコセメントになっているんだ!

クリンクリンのQ&A

処分組合の新たな取り組みとして注目を集めるエコセメント。「でも、ちょっと気になる……」という方に、クリンクリンがお答えします。

- Q エコセメントの安全性は?
A ダイオキシン類は、約1,350の高温で焼成することにより分解され、エコセメント中に残存していても土壌の環境基準値をはるかに下回ります。重金属類は、焼成することによって排ガス中に移行し、エコセメント中に含まれる重金属類は減少し、残存していてもエコセメントを構成する鉱物結晶構造の中に取込まれ、溶出が防止されるため安全です。
Q 環境への影響はないのですか?
A 焼却灰に含まれるダイオキシン類や重金属類は、エコセメントの製造過程等で分解・除去されるため、環境に影響を与えることはありません。施設の建設・運営にあたっては十分な環境対策を行い、騒音、振動、粉じん、悪臭等の発生を防ぎます。
Q どうして二ツ塚処分場につくるの?
A 多摩地域全市町村の約120カ所の候補地について、20数カ所に絞り込み、車両のアクセス性、焼却灰の運搬・確保の効率性、用地取得の容易性、建設期間やコスト等を調査した結果、二ツ塚処分場内につくるのが最適であると判断しました。
Q エコセメントの用途は?
A エコセメントは、一般に土木・建築資材などに使用されている普通ポルトランドセメントと比べて、塩素含有量が若干上回るものの、鉱物組成や強度、耐久性等の物性はほぼ同じ特性を持ち、各種コンクリート製品や土木・建築用の生コンクリートとしても使用できます。
Q エコセメントは、ごみの減量・資源化に逆行しないのでしょうか?
A エコセメント事業は、焼却灰を全量資源化し、多摩地域のリサイクルの向上に寄与し、最終処分場への負荷を軽減し有効活用を図るとともに、安全な埋立対策を一層推進することを目的とするものです。埋立処分せざるを得ない焼却灰を資源化する点で、資源循環型社会の形成に役立つものと考えています。

多摩地域のエコセメント事業 これまでの歩みと今後の予定

平成11年度~12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度~16年度	平成17年度
処分組合規約改正、事業基本計画の検討	環境影響評価手続中	環境影響評価書提出、都市計画決定	造成工事	本格稼働
事業基本計画策定、日の出町と施設整備合意	都市計画案手続中	廃棄物処理施設整備計画書作成・提出	施設建設工事	環境影響評価事後調査
調査計画書提出・手続				

お知らせ

日の出だより



No.12 初日の出を見に来ませんか?

2002年の初日の出を見に、日の出町へ出かけてみませんか。町内には日の出山山頂をはじめ平井地区の妙見宮など、天候に恵まれば清新な初日の出を楽しむことのできるスポットがあります。詳しくは日の出町役場経済課商工観光係までお問い合わせください。なお、ご好評をいただいている「つるつる温泉」は12月25日(火)～31日(月)は休業。1月1日(火)～3日(木)は午前9時から午後5時までの正月特別営業で、1日には樽酒が振る舞われ、2日には地元・報徳地区のお囃子が披露されます。

囃子が披露されます。初日の出を見たあとに立ち寄りてみてはいかがでしょうか。

問い合わせ先 / 日の出町役場 経済課商工観光係
電話:042-597-0511(内線241)



21世紀の初日の出(日の出山より)

中国北京市区・県友好代表団が二ツ塚処分場を視察



二ツ塚処分場では10月30日、特別区長会・東京都市長会・東京都町村会による友好交流事業で来日された北京市区・県友好代表団(团长・哈金起北京市宣武区副区长)の一行9人をお迎えし、実際の埋立現場などを視察していただきました。

処分組合事務局長の歓迎の挨拶、ビデオによる処分場の説明などを受けた一行は、東京都町村会会長である青木國太郎日の出町長をはじめ関係者とともにバスに乗り込み、実際にごみが埋め立てられている様子、水処理施設の外觀などを見学。哈金起团长は、「この処分場が大きな役割を果たしていることを知り、みなさんの経験が貴重な勉強になりました。今日の視察を北京市のごみ問題対策に役立てたいと思います」と述べられました。

三多摩は一つなり交流事業

最終処分場を受け入れていただいている日の出町の方々と、多摩地域25市1町の住民とが文化・スポーツ等を通じ、相互の理解と信頼を深めていくことを目的とした事業です。処分組合では、この事業の実施を支援しています。

2001年秋 実施イベントの報告

きよせ市民まつり(10月13日)

秋空の下、清瀬市立神山公園で開催された「きよせ市民まつり」に日の出町の舞踊連盟が参加。清瀬市のみなさんと一緒に民謡踊りを披露しました。また、日の出町の物産販売も好評でした。



にぎわう日の出町の物産販売コーナー

楽焼体験と調布市火花大会(10月27日)

日の出町民と調布市民の計100名が、日中、深大寺で楽焼などを体験したあと多摩川原へ移動。秋の夜空に舞う20回記念の尺五寸玉を含む12,000発の火花を楽しみました。



深大寺で楽焼を体験

2002年冬 実施イベント

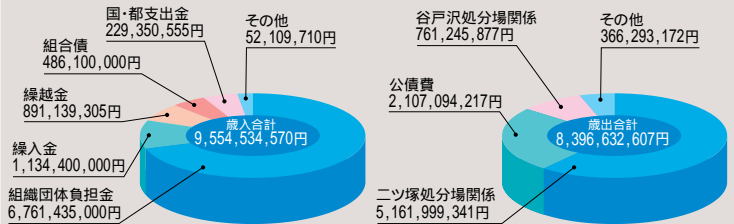
実施日	イベント名	事業主体
1月27日(日)	バレーボール交流	日野市

処分組合の動き

- 9月20日(木) 第1回谷戸沢処分場生態モニタリング評価検討会
- 10月4日(木) 平成13年第3回正・副管理者会議
- 10月9日(火) エコセメント事業について「環境影響評価調査計画に係る見解書」を東京都知事に提出
- 10月18日(木) 平成13年第4回理事会
平成13年第2回エコセメント推進委員会
- 10月29日(月) 東京都知事からエコセメント事業について「環境影響評価調査計画に関する審査意見書」を收受
- 10月31日(水) 平成13年第2回処分組合議会定例会
- 11月7日(水) 処分場敷地内大気中ダイオキシン類調査実施(二ツ塚処分場第3回秋期分)
二ツ塚処分場内の土壌中のダイオキシン類調査実施
- 11月11日(日) エコセメント事業「都市計画素案説明会」(日の出町主催)
- 11月15日(木) 第2回谷戸沢処分場生態モニタリング評価検討会
- 12月11日(火) 第6回処分組合技術委員会
- 12月12日(水) 第10回環境保全調査委員会
- 12月13日(木) 第22自治会二ツ塚処分場対策委員会
- 12月19日(水) 第3自治会谷戸沢処分場対策委員会
- 12月20日(木) 谷戸沢処分場の水質等調査結果公表(平成13年度上半期分)
二ツ塚処分場の水質等調査結果公表(平成13年度第2四半期分)
処分場敷地内大気中ダイオキシン類調査結果公表(平成13年度第1回分及び第2回分)

平成12年度決算報告

10月31日 第2回処分組合議会定例会で認定



歳入は、対前年度比6.9%の増。
構成比では組織団体(25市1町)からの負担金が70.8%となっています。

歳出は、対前年度比4.4%の増。
構成比では二ツ塚処分場関係が61.5%、公債費が25.1%、谷戸沢処分場関係が9.1%などとなっています。

裁判レポート

損害賠償等請求訴訟で処分組合勝訴確定

処分場の建設やデータ開示をめくり、これまで処分組合が当事者となった複数の訴訟が提起されてきましたが、そのほとんどは、処分組合の主張が認められ確定しています。今回は損害賠償等請求訴訟について報告します。

この裁判は、処分組合ニュース第10号(平成11年6月発行)等の記事により名誉を毀損されたとして、二ツ塚処分場の旧共有地の元地権者の一部が、処分組合に対して損害賠償等を求め、平成11年9月24日、東京地方裁判所に訴えを提起したものです。

平成13年10月25日、最高裁判所から上告棄却決定が出され、処分組合の勝訴が確定しました。

裁判では一審(東京地方裁判所八王子支部 判決日:平成12年11月28日)、二審(東京高等裁判所 判決日:平成13年5月22日)とも処分組合が勝訴していましたが、このたび上告審においても処分組合の主張が正当に評価され、処分組合勝訴が確定したものです。これにより、処分組合ニュースの記事は真実であり、違法性がないことが改めて明らかになりました。今後とも処分組合は、処分組合ニュース等を通じて真実・公正な情報を提供していくよう努めます。

問い合わせ先 TEL:042-385-5947・FAX:042-384-8449

処分組合のホームページをぜひご覧ください

処分組合ニュースの内容やごみ処理に関するお考えなど、みなさまのご意見を、お手紙、FAX、電子メールでお聞かせください。また、組合の概要やデータ類を掲載したホームページも、ぜひご覧ください。

〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内
東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合「処分組合ニュース係」
[ホームページ] <http://www.tokyo-shobunkumiai.com>
[メールアドレス] sskumiai@tokyo-shobunkumiai.com